

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	郡山市立希望ヶ丘学園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育としての施設が充実しており、活動内容によって使い分けができる。	・児童の特性や実態に応じて、部屋の活動内容を使い分けている。 (スヌーズレン、静養室、遊戯室(オーシャンスイング、大型滑り台、エアートランポリン等の遊具)、安心して遊べる中庭)	・施設や遊具等の利用の目的をさらに意識した療育指導の充実を図る。
2	・公認心理士、音楽療法講師等の外部講師が定期的に来所し、専門的な内容のスキルアップを行っている。	・外部講師の指導を踏まえて、フィードバックを必ず実施し、支援の効果が高まるように努めている。	・学園の取組の様子について、保護者へ説明はもちろんのこと、他の事業所や園・学校に対しても共有すべき内容については連携を図る。
3	・標準化されたツールやコア会議、担当者会議を通じ、子どもや家族のニーズを分析した上で、具体的な支援計画を作成・実施している。	・職員間でのアセスメントのばらつきを抑え、質の高い療育をチーム全体で均一に提供できる体制の構築を図っている。	・個々の職員が持つ専門知識や事例を全体で共有し、チーム全体の支援技術を組織的に底上げするとともに、療育技術向上のための研修の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の他園児との交流機会を検討しているものの、現状では具体的な実績が乏しく、交流が十分になされていない。	・地域交流において、学園の子どもが受ける刺激やリスクを懸念し、慎重な姿勢をとっている。	・リスクを解消する方策(場を共有する工夫等)を再検討し、安全を確保した上で段階的に地域交流の機会を創出できるようにしていく。
2	・利用日、利用時間にばらつきがあり、短時間の利用では療育の効果が表れにくいところがある。	・幼稚園、保育所等の施設に通っている児童が多いことで、利用日や利用時間が短くなる児童が多い。	・利用者の必要に応じて、利用可能な日をスポット利用日として提供し、より多く活用してもらえるように検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 郡山市立希望ヶ丘学園

公表日 令和8年 3月 6日
利用児童数 令和7年 11月28日

回収数 52

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	48	2	0	2	・子どもの視覚を上手に誘導する場所になっており、良いと思います。 ・十分だと思います。 ・遊戯室が広く、子供が楽しく活動しています。 ・問題なく確保されていると思います。 ・パーティションなどで区切られていて、活動しやすくなっていると思います。 ・教室内で活動場所が狭いように感じました。	・限られたスペースの中でも、パーティション等を活用し、お子様が集中して安全に活動できるよう環境設定の工夫を継続してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	50	2	0	0	・こどもの人数に合った先生が配置されています。 ・目が行き届くように配置されていると思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	52	0	0	0	・十分だと思います。 ・絵などを使って説明してくれます。 ・とてもわかりやすいですし、大人にも伝わりやすくて良いと思います。 ・こどもの目にもわかりやすい環境になっていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	51	1	0	0	・十分だと思います。 ・こどもに合っています。 ・食事スペースとトイレスペースがきちんと考えられ、分けられていて良いと思います。 ・整理された清潔で活動しやすい空間になっていると思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50	1	0	1	・入って間もないため、判断が難しいです。 ・一人ひとりに合った支援を受けています。 ・一人ひとり理解して対応していただけています。 ・こどもの性格や特性に合わせた支援が受けられていると思います。	・利用開始間もない保護者様にも安心していただけるよう、日々のフィードバックや面談を通じ、お子様の特性に合わせた支援内容の共有に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	0	0	1	・支援プログラムと支援内容が合致していると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	1	0	0	・十分に理解されています。 ・課題を客観的に分析し、こちらのニーズも踏まえたものが作成されていると思います。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	50	0	0	2	・こどもの支援に必要な項目が設定された上で、具体的な支援内容が設定されていると思います。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	51	0	0	1	・子どもに合わせた支援が行われていると思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	50	0	0	2	・いろいろと考えてくれています。 ・色々とプログラムを組んでいただけ、本人の成長につながっています。 ・固定化されないよう工夫されていると思います。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	1	36	・現時点ではそのような機会はありません。 ・保育所にも行って活動しています。 ・受けました。	・近隣の幼児施設等の地域との交流機会を検討してまいりましたが、学園の児童が受ける集団からの刺激のリスクが課題になっておりました。課題を解消する方策を再検討いたします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	51	0	0	1	・説明を受けています。 ・その時のことを詳しく覚えていませんが、たぶんあったと思います。 ・丁寧な説明がありました。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	52	0	0	0	・児童発達支援計画に基づいた説明がありました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	47	1	0	4	・まだ参加したことはありません。 ・ペアトレを目的とした研修会などの場が設けられています。	・ペアレント・トレーニング等の研修機会について周知してまいりましたが、保護者様が参加しやすいよう、開催時期や案内の方法を工夫してまいります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	50	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日お迎えの際の担当の先生とお話して、指導や状況が聞けるのでありがたいです。 ・終了時に簡単に説明を受けています。 ・連絡帳、お電話、面談などで機会をいただき助かります。 ・ちょっとした変化や成長があると、先生が保護者に伝えてくださり大変助かります。 ・丁寧なフィードバック等があり、共通理解ができていると思います。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事などがあると相談させていただき、助言をもらっています。 ・状況に合わせて支援の場が組まれています。 ・定期的に面談などの支援が行われています。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	51	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親のモチベーションが下がらないように、共感的に支援していただいています。 ・すごく共感していただけるので、気持ちが軽くなります。 ・共感的な支援を受けられていると思います。 	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	40	5	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・通園してからできることが少しずつ増えてきて、うれしく思っています。先生には、家庭で困っていることを連絡帳に書くとすぐアドバイスをいただいたり、学園で実践していただいたり、とても感謝しています。 ・定期的に保護者交流会が設けられており、保護者間の交流の機会を持つことができています。 ・きょうだいへの支援の場もあつたらいいですね。 ・活動の中で苦手なことや困りごとが見られた際、家でもサポートできるようアドバイスをもらえると嬉しいです。 ・ワンオペ育児のため、兄弟の預け先がない場合に中に入れなくて困ってしまう場面があります。預ける誰かを探るのが大変な時があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい支援へのご要望を受け、イベント等の企画を検討いたします。また、家庭でのサポートに関する助言の強化や、ワンオペ育児等によるご兄弟の同伴が必要な際の柔軟な対応についても検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	51	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談するとすぐに対応して下さいますし、幼稚園での困り事を相談すると迅速に訪問支援に行ってくださいのがとても助かっています。 ・申し入れればすぐに対応していただけます。 ・相談や申し入れの際には、迅速で適切な対応がなされていると思います。 	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	52	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮がされていると思います。 ・可能であれば、連絡は紙ではなくアプリ等にしていただくと嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡手段のデジタル化（アプリ導入等）については、利便性向上の観点から、今後の運営における検討課題とさせていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	46	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発信されていると思います。 ・マチコミで細かく連絡が来るのでありがたいです。 ・アプリで欠席連絡ができるようになると、急ぎの時もあるので嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のGoogleフォームの活用に加え、欠席連絡等のスムーズな連携に向けたシステムの利便性向上を検討してまいります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な部分までは把握できていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱い方針や管理体制について、入園時だけでなく定期的なお便り等を通じて、改めて保護者様へ周知を図ってまいります。 	
非常時等の	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	49	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらくされていると思うのですが、実際に見ていないのでわかりません。 ・マニュアルが策定されて周知されており、訓練が実施されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルの整備状況や、学園で実施している訓練の様子について、お便りや掲示板、ホームページ等を通じて視覚的にもわかりやすくお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	48	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練が行われています。 ・定期的に訓練されていますが、週2回午前中だけの通園のため、訓練ができていないか少し心配です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの曜日・時間帯の利用者様も訓練を経験できるよう、実施日時を調整し、安全確保の徹底を図ってまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	51	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保が行われた支援を受けられていると思います。 	

対応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	47	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶつけた時などにきちんと伝えてくれました。 ・どういう状況で事故が起きてしまったのかをとでも詳しく説明していただき、安心したのを覚えています。 ・まだそのような経験がないので、よくわかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一の事故の際には、迅速な連絡と詳細な状況説明を徹底する体制を整えております。今後も事前の説明を丁寧に行い、安心感につなげてまいります。 	
	満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	50	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安心しています。 ・不安を感じている様子は見られていません。 ・数回の利用なのでまだ慣れておらず、安心感はまだないかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用し始めのお子様が一日も早く環境に慣れ、安心して過ごせるよう、一人ひとりのペースに寄り添ったきめ細やかな関わりを心がけてまいります。
		28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	49	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌がることはありません。 ・すごく楽しそうに行けています。 ・毎週登園するのを楽しみにしています。先生方の温かい対応のおかげです。 ・登園日には拒否なく、楽しく通うことができています。 ・気分によります。 ・子どもの機嫌によっては行きしぶりもありますが、基本的には楽しみに通所しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様のその日の気分や体調を丁寧に汲み取り、登園した際に「楽しい」と感じられるような活動や声掛けの工夫に努めてまいります。
29		事業所の支援に満足していますか。	51	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の継続的な関わりのおかげで、少しずつ成長を感じることができて感謝しています。 ・大変満足しています。 ・とても助かっています。ありがとうございます。 ・先生がとても親切で、保護者のことも理解して対応していただき、ありがたいです。 ・子どもに根気よく向き合ってください、フィードバックも丁寧で満足しています。 		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
郡山市立希望ヶ丘学園		令和8年 3月6日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	3	・人数が多い時、個別スペースの活用を行っている。	・クラスや曜日によってスペースが狭いと感じる。 ・定員に対してスペースが狭いと感じる。 ・定員数は適切だが、お子さんの発達段階に合わせて、もう少し部屋があると良い。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	7	・支援の必要性が高い時は職員を増員して支援を行っている。	・適切ではあるが、行事や休暇が重なったりする場合に人員不足になる時がある。 ・急な事態発生時に、対応できる職員に限られている。 ・配置数には足りているが、対応できる人が不足している。 ・支援度の高いクラスの職員確保（あと1名）が必要と感じる。 ・環境構成が新しくなり、人手と工夫が必要と感じる（臨時で入る職員には共有が必要）。 ・業務管理の見直しが必要だと思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	・その都度、構造化の見直しを図っているところである。 ・子ども達の状態に合わせて対応している。 ・子どもの目線の高さに合わせている。	・玄関などがバリアフリーになっていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	1	・清掃や玩具の消毒などを毎日行っている。 ・口に入れたものは消毒している。 ・その日の活動によっては床にシートを敷いて遊んだり、グループワークの時は机を移動したりしている。 ・掃除、玩具の衛生管理を徹底している。	・雑巾等の衛生について。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	2	・パーティション等を使い、必要に応じて場を作る工夫をしている。 ・落ち着かない子どもがいる時には、別ブースでパーティションで囲ったりして、切り替えられるようにしている。	・パーティション等で環境設定しているが、個別の部屋の設定が必要である。 ・静養室や遊戯室などの整理が不十分で、正しくスペースが取られていない。保管先が不十分である。 ・個別ブースはあるが、同じ環境内である。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	2	・毎年QC活動に取り組んでいる。 ・月案の作成と振り返りを行っている。 ・今年度の記入で反省等を行った。	・会議などは行っているが、表面的に感じることがある。 ・業務改善を提案しても、改善されないことがあると感じる。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1		・把握はしているが、検討中なのか改善に至っていない点もある（Q5で記載した同じ室内での構造化など）。 ・改善につながっているかについては、まだ対応しきれっていない面がある。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	3	・現場で見るとできることもあるように思う。 ・イベントごとにアンケートの配布がある。 ・他の職種の見聞やアドバイスを参考にして活動を見直している。 ・職場内研修会や支援員会議を活用している。	・意見を定期的に聞いてもらう機会が少ない。 ・提案しても改善されないことがある。 ・業務改善できる場所は、もっとあるように思う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	5		・外部評価を行っていない。認識はしているが。 ・第三者評価の実施について検討が必要である。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0		
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0			
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	・コア会議、担当者会議を行っている。		
13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・コア会議や担当者会議を実施している。	・特定の職員の意向が強いこともある。 ・児童発達支援管理責任者は、担当者会議だけでなくコア会議に参加すると、お子さんの状態がより伝わりやすくなると思う。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	・他機関の行動評価表なども参考にしている。 ・標準化されたツールについては、他機関での発達検査等を参考にしている。	・インフォーマルは、個人によりアセスメントの差があるように思う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・毎日の会議を実施している。	・全体での会議の中で、各クラスでの話し合いができるような時間があつた方が、より良いプログラム支援につながると思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	・お子さんの発達によりできる活動を色々と考えて行っている。	・児に合ったプログラムではなく、他クラスの活動をしていることがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	2	・打ち合わせはしている。	・役割分担をもっと明確にした方がよい。 ・打ち合わせをしているが役割が不十分で、指示されたことが実行されない時がある。 ・連携不足などもある。 ・全体での会議の中で、各クラスでの話し合いができるような時間があつた方が、より良いプログラム支援につながると思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	・毎日の会議で振り返りはしている。	・振り返りはしているが、情報共有は不十分であると感じることがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	2	・記録は行っている。	・ケース記録が統一されていなかったり、次の支援につながる考察には至っていない。 ・時間が足りない時が多い。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・担当と話し合いをして、見直した方がよいが検討している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		・業務が特定の職員に偏っていると感じる。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1		・医療との連携体制は不十分である。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		・通常級希望の方の情報共有は不十分である。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	0		・特定の職員に偏っていると感じる。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	0		・特定の職員が多く参加しているように感じる。 ・今年度、研修会に招かれることがあつた。そのような支援ができることをもっとアピールして良いと思う。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	0		・担当ではないので分からない。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	14	・親子遠足で他の保育園、幼稚園と場を共有する機会を設けている。 ・園外保育や遠足で場を共有する機会はある。	・このような機会を設ける話はあつたものの、進展していないように感じる。 ・交流はされていない。 ・他園の子どもと交流する機会を作るのは、発達に違いがあり難しいと感じる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	1		・フィードバックはしているが、内容が十分かは不明である。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	・保護者向けの研修会や相談会を開催している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・面談時に家族の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・送迎時や連絡帳にて適宜対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	2	・父母の会はないか、保護者同士で交流する機会は設けている。	・きょうだい児同士の交流の機会はないため、今後、検討が必要と思われる。 ・きょうだい同士で交流する機会は設けていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・迅速に対応していると感じる。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・マチコミの活用を行っている。 ・マニュアルを活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	9		・事業はあるものの、実績がないのではないかと。今後どのようにしていくのか検討が必要である。 ・施設公開は設定しているが、行事等への招待は実施していない。 ・招待するような行事は開催されていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	2		・家族がどこまで理解できているか分からない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・救急訓練（救命講習等）を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	・子どもに説明し、了解を得ている。	・子どもに説明し、了解を得ているかは分からない。 ・現状、身体拘束該当児童はいない。	